

Labo News

らぼニュース

発 行 所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座 731-677
発 行 人 梶 山 広 美
編 集 人 山 田 真

No.419 目次

- ◆平成28年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会
および特別講演会のお知らせ…………… (2)
- ◆会誌「らぼ」原稿募集…………… (3)
- ◆一般検査研究班 基礎講座に参加して… (4)
- ◆生理検査研究班 基礎講座に参加して… (4)
- ◆地区だより…………… (6)
- ◆生物化学分析検査研究班共催団体のご案内… (7)
- ◆研究会…………… (7)
- ◆法人設立30周年
フレッシュセミナー2017…………… (8)

広報部活動について

広報部長 山田 真

このたび、平成28、29年度の公益社団法人愛知県臨床検査技師会の広報部長を仰せつかりましたJCHO中京病院の山田真です。平成25年度から広報部長を努めて3期目になります。広報部は担当副会長（渉外部門）、部長、担当理事（地区理事）2名の構成で部を担っています。また広報部の中にはホームページ運営委員会があり5名の委員と広報部理事により愛臨技ホームページの適切な運営を行っています。

渉外部門は平成26年度からの短期中期事業計画に基づき「組織強化」「成熟した組織の運営」「会員意識の向上」の3つを柱に立案し、その方針に基づき広報部は広報誌に関して「会誌等の発送方法」の変更を行い平成28年4月より会員皆様に迅速にお届けできるようにしました。愛臨技ホームページは「県民向けページ」の新設、「学術研究班ホームページ」の再構築を行い平成27年5月にリニューアルいたしました。

会報らぼニュースは昭和57年の第1号から毎月発行し、今月で419号になります。内容につきましては日臨技、愛臨技関係の周知、行事の募集、地区だより、基礎講座、研修会などの案内を中心に掲載しております。また平成23年10月よりPDF版として毎月1日にホームページで閲覧が可能となりました。

会誌らぼは昭和45年の年4回発行から現在の年1回発行に変更してから67号になります。内容は検査室の管理運営に関するアンケート集計、学術論文、学術部研究班記録、会員業績を掲載しています。アンケートに関しては時代に即した内容となるように理事会で協議しています。学術論文に関しては愛知県医学検査学会学術奨励賞を中心に掲載していますが一般からの寄稿も募集しております。広報誌に関して、紙面の構成やさらなる内容の充実を目指し今後も検討してまいりたいと考えております。

愛臨技ホームページは随時更新し、緊急性や重要なお知らせはテロップでお知らせしています。学術関係のページは運営委員と各研究班HP担当者が会議等を通じ意思統一を図り協力し適時更新しております。ホームページの内容などについては「お問い合わせ」欄が用意されておりますのでご意見をお聞かせいただけますようお願いいたします。

最後に、本年度から広報部員の一部が入れ替わり新たな気持ちで2年間勤めますので、今後とも会員皆様のご理解とご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ

日 時：平成29年 3月11日(土) 14:00～17:00
会 場：名古屋第一赤十字病院 東棟2階 内ヶ島講堂
内 容：平成28年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会

1) 開会式 (14:00～14:15)

- (1) 愛臨技会長挨拶
- (2) 来賓挨拶

2) 各検査部門別報告 (14:15～15:45)

- (1) 事務局総括
- (2) 臨床化学検査部門
- (3) 免疫血清検査部門
- (4) 血液検査部門
- (5) 一般検査部門
- (6) 生理検査部門
- (7) 輸血検査部門
- (8) 微生物検査部門
- (9) 細胞検査部門
- (10) 病理検査部門

各部門から、要点を簡潔にまとめた形式で報告を行います。

詳細な報告は各研究班研究会および総括集を参照してください。

なお先着順となりますが、参加者には総括集を配布いたします。

3) 特別講演会 (16:00～17:00)

テーマ「注目!! 平成29年度 日臨技の動向」～e-ラーニングを中心に～

講師：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

副会長 梶山 広美

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 梶山副会長から「平成29年度の日臨技の動向」として、現在日臨技が取り組んでいる活動について報告していただきます。特に会員からの注目度の高い「e-ラーニング」については、試行運用された結果も踏まえ現状を説明していただきます。多数のご参加をお願いいたします。



基礎教科：20点

主 催：愛知県臨床検査技師会
共 催：愛知県医師会・愛知県病院協会
愛知県臨床検査標準化協議会

会誌「らぼ」原稿募集

平成29年度に発刊予定している会誌「らぼ」68巻 について次の要領で原稿を募集します。

1. 未発表の学術研究論文

- ・ 随時募集中
- ・ 投稿規程は（一社）日本臨床衛生検査技師会発行の「医学検査」に準ずる。
- ・ CDに入力し、CDと印刷したものを提出する。尚CDには施設名、氏名を明記する。

2. 会員業績（出版物・論文発表・学会発表）

- ・ 平成28年4月1日～平成29年3月31日までに発表されたもので、筆頭者が愛臨技会員で検査学術関連のものに限る。
- ・ 学会抄録は論文発表には含めず、学会発表の項に掲げる。
- ・ 所定のExcelに入力後CDにコピーし、CDと印刷したものを提出する。CDには施設名、氏名を明記する。

3. 入力ファイルについて

体裁は 愛臨技ホームページ「事務局からのお知らせ」に掲載しますので、そこからダウンロード（Excel形式）してください。（下記、入力例）

【論文】 氏名 雑誌名 巻 号 最初の頁～最後の頁 論文題名 共同研究者

筆頭者	雑誌名	巻	号	頁	論文題名	共同発行者
愛臨技 太郎	検査と技術	43	1	1～10	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

【出版物】 氏名 書名 最初の頁～最後の頁 題名 発行所

氏名	書 名	頁	題 名	発行所
愛臨技 太郎	Medical Technology	1～10	〇〇における・・・	医試薬出版

【学会・講演会・研修会】 氏名 回数を明記した学会名 開催月日 演題名 共同発表者

発表者	学会名	開催月日	発表題名	共同発表者
愛臨技 太郎	第65回日本医学検査学会	9月3日 ～4日	〇〇における・・・	日 臨子・中 臨雄

4. 締め切りおよび送付方法

- ・ 締め切り 平成29年4月15日
※会員業績については編集作業の都合上締め切り後の到着分は次号になります。
- ・ 送付方法
封筒に「会誌らぼ 研究論文または会員業績原稿在中」と明記し、愛臨技事務所宛に送付してください。

広報部からのお知らせ

広報部では会誌「らぼ」や会報らぼニュースの掲載内容について引き続き検討しています。会員の皆様の御意見をお聞かせください。ご意見は下記メールアドレスにお願いいたします。

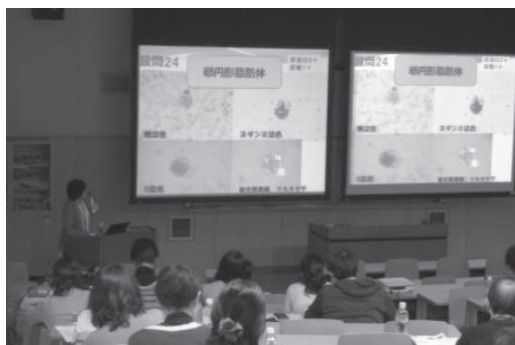
Mail: gym.1172@gmail.com

一般検査研究班 基礎講座に参加して

藤田保健衛生大学病院

粕田 陽佳

平成28年11月13日(日) 名古屋大学医学部にて開催された一般検査研究班 基礎講座に参加させていただきました。心腎連関の講演や尿沈渣のスライドカンファレンスを聞き、尿沈渣の鏡検実習も行いました。鏡検実習では、基礎的成分とそれと間違えやすい類似成分の比較鏡検や、見分けるポイントを教えていただきました。



また最後には、日々の一般検査業務についてのグループディスカッションを行い、その内容を共有する機会もありました。他施設の方とのディスカッションを行うのは今回が初めてで、自分の働いている施設と他施設との業務の行い方の違いを知ることができ、新しい発見がありました。個人的には日々の業務で難しいと感じていた、見分けにくい細胞の鑑別方法について教わることで、大変勉強になりました。



今回学んだことを臨床の場で実践していくと共に、今後も積極的に勉強会に参加しスキルアップしていきたいと思います。

生理検査研究班 基礎講座に参加して

中部労災病院 佐藤 名世

平成28年12月4日(日)、名古屋第二赤十字病院にて開催されました生理検査研究班基礎講座に参加させていただきました。今回のテーマは「心臓超音波検査の基礎」でした。私は4月から心エコー業務に携わることになり、ちょうど最近ひとり立ちをしたところですが、断層像がうまく描出できなかったり、判断に困ることがあったりとまだ不安ことが多い

ので、少しでも自信を持って検査を施行できるようになりたいと思い、この基礎講座を楽しみにしていました。

午前の講義では基本の断層像の出し方から計測の仕方まで、気をつけるべきポイントを簡潔明瞭に解説していただきとてもためになりました。私はまだ必要な断層像を出して計測をすることばかりに気を

取られてしまっていますが、計測値から疾患や状態を推測できるようにならないといけないと改めて思いました。

午後の講義は「あなたならどのように検査しますか？」というテーマで、心雑音や胸痛のある場合にどのようにアプローチしていけばよいか話を聞くことができました。自分の知らない疾患名がたくさん出てきて、勉強不足を実感しました。

実習では参加者4.5人につき班員の方が1人ついてくださり、実際に被検者の方に対してエコーをあてさせていただきました。班員の方の手厚いご指導

により、基本中の基本から手取り足取り教えていただけて大変有意義な時間でした。また他施設の方ともルーチンの方法や悩みなど話をする事ができたことも大きな収穫であったと感じています。

今回この基礎講座で学んだことを自施設で活かし、臨床の現場に還元できるよう日々努力していきたいと思います。このような貴重な機会を設けてくださった班員の方々をはじめ、講義をしていただいた先生方、体を貸してくださった被検者の方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

碧南市民病院 石川 幸

平成28年12月4日、名古屋第二赤十字病院で開催された基礎講座「心臓超音波検査の基礎」の初心者コースに参加しました。午前は初心者、初級者のために心臓超音波の基礎についての講義とプレハンズオンがあり、午後からはハンズオンと症例の講義がありました。

私は心臓超音波検査の練習を始めて1か月程度で、まだ目的の断層像を描出するのにもまならないレベルです。プレハンズオンでは「当て方持ち方のくせ修正」と題して、受講者が患者モデルにプローベを当て、初心者が陥りやすいプローベ操作のミスを教えていただきました。プローベを回転させる時に軸とする画像部位やプローベの動かし方はとてもわかりやすかったです。自施設に戻ってからの練習では正確に描出できるようになったと感じています。また正しい姿勢、正しいプローベの持ち方で検査をする事が、長く超音波検査を行っていく上で大切な事だと学びました。

午後のハンズオンでは、1人5分の3セットと短い時間の中で実技講師の先生方が講義の内容に沿って丁寧に指導してくださいました。講義を聴いたときには簡単にできそうな気がしていましたが、実際に行ってみると5分間はとても短く、目的の断層像を描出するだけで精一杯でした。計測する段階まで進むことができず心臓超音波検査の難しさを再認識しました。

午後からのドプラ記録やasynergyなどの各講義は、まだまだ勉強不足の私には難しく、テキストと書き込んだメモを活用してこれから勉強していきます。

今回の基礎講座に参加して、改めて心臓超音波検査の難しさを感じましたが、早く一人前になって検査をしたいと思いました。今後も心臓超音波の勉強を頑張ります。このような機会をいただきありがとうございました。



名古屋第一赤十字病院

検査部 橋本 卓典

当院の位置する名古屋市中村区は、歴史に出会う街並みです。

「中村公園」には太閤秀吉を祀る「豊国神社」と、その隣に加藤清正の生地、「妙興寺」があります。このあたりには武家の町を思わせる地名が今も多く残っています。そして「名古屋駅」。明治の昔から名古屋の玄関口として、多くの人間模様を見てきました。「名護屋駅」として最初の駅ができた笹島地区は後に貨物基地となり、現在は大学やライブハウスが立ち並ぶ若者の街になっています。



そんな中村区の真ん中には「中村遊郭」がありました。大正時代、ここに遊郭を作るために埋め立てをしたのですが、その土をとったところが池（遊里ヶ池）となりました。しかしこの池は、世を夢んだ遊女たちが身を投げる、悲しい歴史の場となってしまいました。

昭和12年、そんな遊里ヶ池を埋め立てて出来たのが「日本赤十字社愛知支部名古屋病院」、現在の名古屋第一赤十字病院です。

地下鉄「中村日赤駅」から病院まで通じる地下道

は、開放的な吹き抜けの、しかしちょっと不思議な雰囲気のアプローチになっています。壁面には病院の歴史が数多くのパネルで表されており、ゆっくり見ながら歩くのも楽しい作りになっています。また、正面玄関から建物に向かうアプローチには旧玄関がモニュメントとして残され、その傍らにはナイチンゲールの像が立っています。このナイチンゲールの像は誇らしげに外に向かって立っているのではなく、優しい眼差しで入院患者を見守るように、建物に向かって立っています。

さて当院は、救命救急センター指定、災害拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、地域がん診療連携拠点病院など数多くの指定を受け、高度な医療、先進の医療を目指していますが、同時に助産師による手厚いお産ができるバースセンターや終末期の生活を支える緩和ケアセンターも併設しています。

また、近頃話題のDMATができるよりずっと前から「日赤救護班」を編成して、災害救護にあたっていた事は言うまでもありません。

こうして当院は、信頼され、愛される病院として名古屋市中村区に根ざしています。



法人設立30周年 フレッシュセミナー 2017

【基礎教科 20点】

日時：平成29年4月23日(日) 9:30(受付開始)～14:00

場所：アーバンネット名古屋ビル20階 シスメックスリップルスクエア

アクセス：久屋大通駅 出口3B直結 電話 052-775-8101

会費：無料

対象：会員・賛助会員登録施設の新入職者 100名(定員になり次第締め切り)

服装：軽運動ができる服装およびタオル

内容：①臨床検査技師会の紹介(愛臨技・日臨技)

技師会役員

②医療者としての接遇(心)

日本彩食心美協会

森 志保 氏

③リフレッシュ・フィットネス(身)

Free Fitness IR

草野 茂 氏

④意見交換会および写真撮影(軽食)

参加者全員

申し込み：日臨技会員未登録および申請中での参加も可能です。下記申し込み用紙にて愛臨技事務所までFAXでお送り下さい。

締切：平成29年4月17日(月) (定員になり次第締め切り)

問合せ先：豊田厚生病院 中根 生弥 0565-43-5000(7186)

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 宛

FAX番号 (052) 586-5680

【フレッシュセミナー 2017 申込書】

	施設名：	申込責任者：	TEL： FAX：
No	会員番号(登録者のみ)	参加者名	
1			
2			
3			
4			
5			